

雑木とスギの 知られざる値打ち

薪炭材の需要がなくなり、人の手が入らなくなった里山の雑木。かつて広葉樹を伐採して全国の山に植えられたスギも、うまく活かされているとは言いがたい。私たちは、それぞれの木がもつ本当の価値を知っているだろうか。



茶道用の炭（能勢菊炭）を焼くため、地上2mもの
高さで伐採を繰り返されてきた「台場クヌギ」の
森（p26、大阪府能勢町）
写真=伊藤雄大